



深澤 賢市 議員

黒羽中学校屋内
温水プールについて

質問（深澤賢市議員）
学校施設などに関しては、耐震補強設計を施さなければならぬと指示されていたはずですが、何故、地震後に補強工事をしなければならぬのか、この間の経緯について伺います。

答弁（教育部長）

黒羽中学校屋内温水プールは、平成20年度に当時の建築基準法の耐震基準に基づいた実施設計を行い、平成22年度に完成しました。その後、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、体育館や屋内プールなどの運動施設において、天井材が落下するなどの被害が多く発生したことを受け、建築基準法施行令が一部改正されました。

人が日常立ち入る場所で、天井の高さが6メートルを超えている部分の面積が200平米を超え、重さが1平米あたり2キロを超える吊り天井は、特定天井として位置付けられ、脱落によつて重大な危害を生じるおそれがあるため、落下防止措置の義務付けがなされました。

現在の黒羽中学校屋内温水プールがこの特定天井に該当するため、天井の改修工事を実施しています。



秋山 幸子 議員

国際医療福祉大学行きの
バスダイヤについて

質問（秋山幸子議員）
国際医療福祉大学の学生が、午前9時からの授業開始にゆとりを持って行けるように、市営バスの増発やダイヤ改定を行う考えがあるか伺います。

答弁（市民生活部長）

国際医療福祉大学の学生が乗車するバス路線については、市営バスの那須塩原駅線と東野バスの西那須野駅・五峰の湯線及び大学によるスクールバスの3系統が運行しています。市営バスに関しては、毎年4月、新入生の通学による乗車場所や人数の変化に対応するため、朝の乗車状況を市内3、4か所のバス停において調査を行い、人数に合わせて増発便を出すなどの対応をしている状況です。

また、那須塩原駅線のバスのダイヤについては、通勤や通学の足として、駅の電車到着時刻に合わせて設定していますので、他の通勤者等の利用状況を調査し、大学と連絡調整を行いながら、情報を共有してスクールバスと公共交通との融和と、利便性の向上を図っていきたくと考えています。